

たろうぼうぐう とうろくゆうけいぶんかざい  
**太郎坊宮の登録有形文化財**

❖平成31年、新たに国の登録有形文化財(建造物)としての登録が  
 答申された太郎坊宮の建造物をご紹介します。

1. 太郎坊宮阿賀神社本殿

建築:宝暦3年(1753)



2. 太郎坊宮阿賀神社参拝所

建築:大正13年



❖太郎坊宮の神様を祀る本殿は、赤神山南腹の僅かな平地に東面して  
 建てられています。険しい山上に建てられているため、暴風雨災害によっ  
 て損傷することが数度あり、現在の本殿は江戸時代中期の再建です。  
 構造は一間社入母屋造り。獅子や猿、菊花といった彫刻が随所に施  
 されており、丁寧で装飾性豊かな近世神社建築として評価されました。  
 ❖本殿を取り囲むように建てられているのが、参拝所です。普段、外から見  
 える社殿はこの参拝所になります。大正時代に増築された建物で、正  
 面に向拝、背面には幣殿が付帯し、本殿と一体化した複雑な屋根を  
 形成しています。

3. 太郎坊宮阿賀神社舞台

改修:明治13年、  
 昭和23年



❖本殿の前に設けられているのが、  
 舞台です。京都・清水寺の舞  
 台と同じく懸造りという工法で  
 建てられた舞台は、約13メー  
 トルの高さを誇ります。基礎の柱  
 は全て急傾斜の岩場に据えら  
 れており、優れた建築技術を要  
 していることが評価されました。  
 昭和になってからコンクリート床  
 に改修されましたが、本来は板  
 床でした。

4. 太郎坊宮阿賀神社授与所

建築:明治時代中期

❖舞台端にある岩壁にこい込むように建てられている  
 のが、授与所です。参拝者に対して神札等を授け  
 るために設けられた建物です。



5. 太郎坊宮阿賀神社拝殿(左)

建築:江戸時代末期

6. 太郎坊宮阿賀神社神楽殿

建築:明治時代中期



7. 太郎坊宮阿賀神社永安殿(右)

建築:明治40年

8. 太郎坊宮阿賀神社長楽殿(中)

建築:昭和5年



❖拝殿は夫婦岩下に建つ入母屋造りの建物です。  
 拝殿背面には、同じく入母屋造りの神楽殿が付帯します。  
 どちらも重要な神事儀式を行うための社殿です。  
 ❖拝殿南側の崖下に、入母屋造り二階建ての永安殿が建ちます。  
 神楽演奏所兼旧社務所として設けられました。  
 ❖長楽殿は永安殿南側の崖下に建つ入母屋造り平屋建ての集会施  
 設です。唐破風玄関を設け、永安殿へ渡る空中階段が付属します。

9. 太郎坊宮阿賀神社祭器庫

建築:昭和13年

❖長楽殿の対面にある、土蔵造り二階建ての倉です。  
 神事儀式に用いる道具を納める場所です。

10. 太郎坊宮阿賀神社手水舎

建築:明治44年

❖永安殿東側の岩棚に設けられた切妻造りの建物です。  
 神様へ参拝する前に、心身を清めるための場所です。

11. 太郎坊宮阿賀神社銅鳥居

建築:昭和32年

❖板金加工を施された、珍しい鳥居です。

12. 太郎坊宮阿賀神社絵馬殿

建築:大正14



❖奉納された絵画額類を掲出するための建  
 物です。古文化財保存修理の権威であ  
 る、故・岸熊吉氏の設計監修による簡明  
 かつ整然とした切妻造りの社殿。

13. 太郎坊宮阿賀神社不動明王拝所

建築:昭和5年

❖絵馬殿の西側にある不動明王の祠前に建つ、  
 総花崗岩造り、方一間吹放しの拝所です。  
 大棟や鬼瓦等の細部も花崗岩で精巧に作ら  
 れており、高度な石工技術を見せています。



14. 太郎坊宮阿賀神社中門

建築:昭和9年

❖良質な総花崗岩造りの結界門。随所に見られる高い石工技術が評  
 価されており、中でも屋根は美しい反りを作り出しています。

15. 太郎坊宮阿賀神社一の鳥居

建築:明治27年



❖八風街道沿いにある参道入口に建つ明神鳥居形式の鳥居です。  
 北に延びる参道の先に赤神山がそびえ、神社の入口を象徴するととも  
 に参道景観を彩る大鳥居として参拝者に親しまれています。